

**夏季休暇は「自宅で過ごす」が4割、
理由は「どこに行っても混んでいるため」が半数以上**
- 夏季休暇に関する調査 -

URL: <https://research.rakuten.co.jp/report/20180717/>

楽天リサーチ株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：田村 篤司、以下「楽天リサーチ」）は、「夏季休暇に関する調査」をインターネットで実施しました。今回の調査は、2018年6月11日（月）から6月12日（火）の2日間、楽天リサーチに登録しているモニター（約220万人）の中から、全国の20代から60代の男女1,000人を対象に行いました。

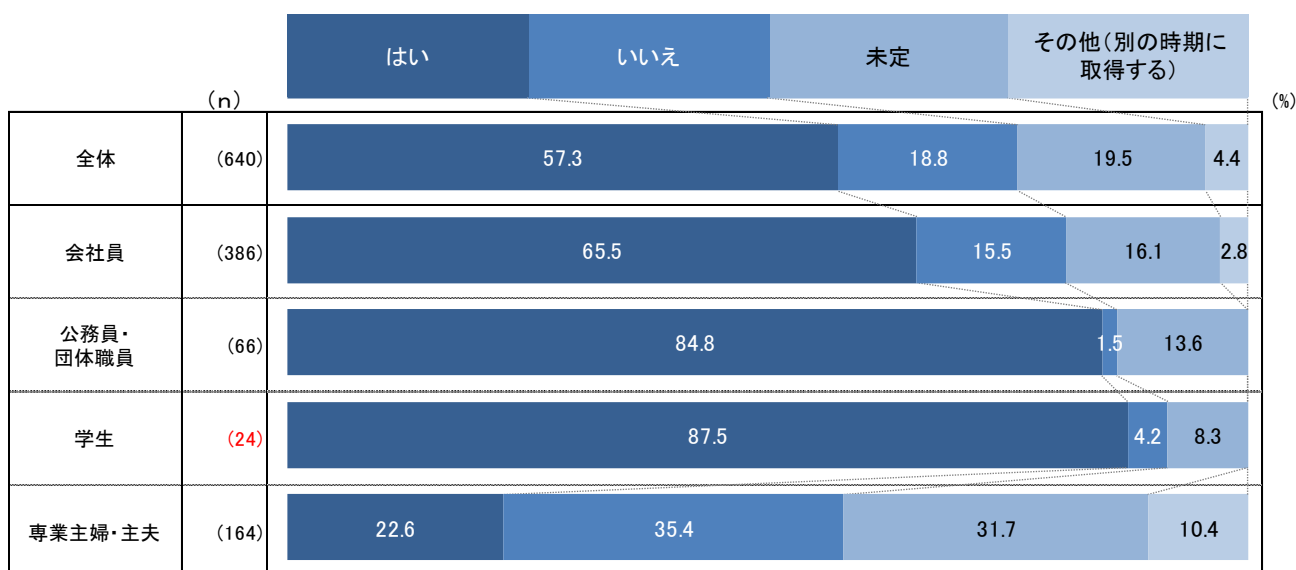
■ □ 調査結果 □ ■

■ 夏季休暇（お盆休みなど）は約6割が取得予定、取得しない人は「専業主婦・主夫」がトップ

今年、夏季休暇（お盆休みなど）を取得するかを聞いたところ、「はい」と答えた人が57.3%と半数以上を占めた。「いいえ」と回答した人が18.8%、「未定」が19.5%、「その他（別の時期に取得する）」が4.4%だった。

また、職業別に見ると、「会社員」では、「はい」と回答した人が65.5%であるのに対して、「公務員・団体職員」では84.8%だった。

◇**夏季休暇を取得しますか**（n=640：「会社員」、「公務員・団体職員」、「学生」、「専業主婦・主夫」の人）
単一選択 単位：%



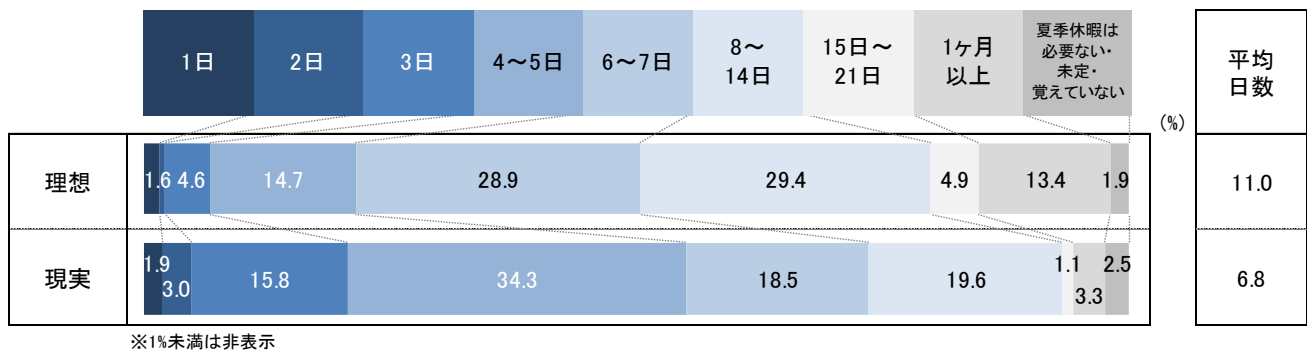
※1%未満は非表示
※赤字はサンプル僅少のため参考値

■理想の夏季休暇の長さは「8～14日」、夏季休暇の取得日数は「理想」と「現実」で差が開く結果に

夏季休暇を取得する予定の人に、理想の取得日数と、現実の取得日数(取得した日数)を聞いたところ、「理想」では、「8～14日」(29.4%)、「6～7日」(28.9%)を挙げた人が多く、続いて「4～5日」(14.7%)となった。「現実」では、「4～5日」が34.3%で最も多く、以下「8～14日」(19.6%)、「6～7日」(18.5%)と続いた。

平均日数は「理想」：11.0日、「現実」：6.8日となり、「現実」が4.2日少なかった。

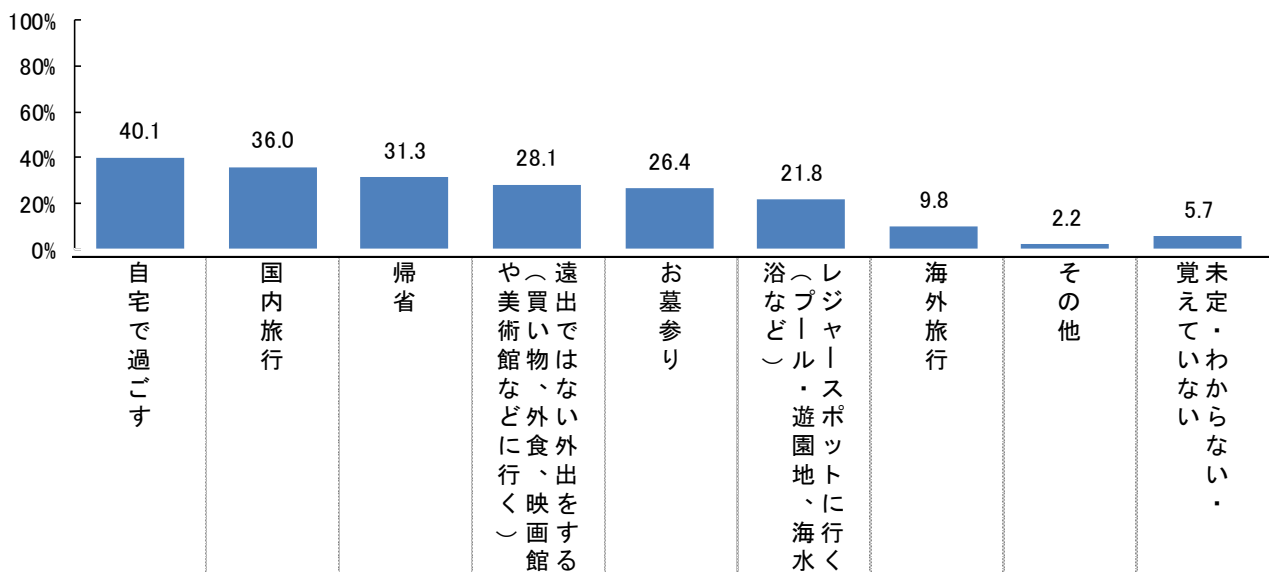
◇夏季休暇の理想の日数と現実の取得日数 (n=367：夏季休暇を取得する予定の人) 単一選択 単位：%



■夏季休暇は「自宅で過ごす」が4割

夏季休暇を取得する予定の人に、夏季休暇に何をするかを聞いたところ(複数選択)、「自宅で過ごす」が40.1%で最も高かった。以下「国内旅行」(36.0%)、「帰省」(31.3%)と続いた。

◇夏季休暇に何をしますか (n=367：夏季休暇を取得する予定の人) 複数選択 単位：%



◇【職業別】夏季休暇に何をしますか 複数選択 単位：％

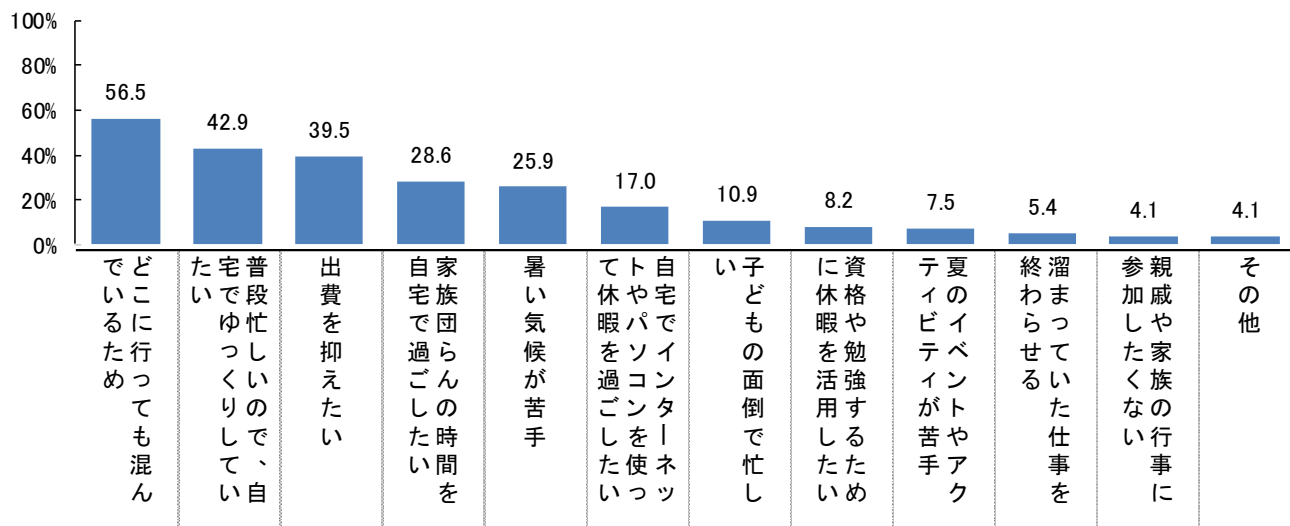
	(n)	自宅で過ごす	国内旅行	帰省	美術館などに行く（買い物、外食、映画館や遠出ではない外出をする）	お墓参り	レジャースポットに行く（プール・遊園地、海水浴など）	海外旅行	その他	未定・わからない・覚えていない
全体	(367)	40.1	36.0	31.3	28.1	26.4	21.8	9.8	2.2	5.7
会社員	(253)	40.3	37.2	30.8	29.2	29.6	20.6	8.3	1.2	5.9
公務員・団体職員	(56)	41.1	33.9	21.4	28.6	23.2	25.0	12.5	7.1	5.4
学生	(21)	42.9	47.6	28.6	23.8	-	33.3	9.5	-	14.3
専業主婦・主夫	(37)	35.1	24.3	51.4	21.6	24.3	18.9	16.2	2.7	-

※「全体」で降順ソート
※赤字はサンプル僅少のため参考値

■夏季休暇を「自宅で過ごす」理由は「どこに行っても混んでいるため」が半数以上

夏季休暇を「自宅で過ごす」と回答した人にその理由を聞いたところ、「どこに行っても混んでいるため」と回答した人が56.5%と最も高く、以下「普段忙しいので、自宅でゆっくりしたい」（42.9%）、「出費を抑えたい」（39.5%）と続いた。また、「家族団らの時間を自宅で過ごしたい」という回答も28.6%あった。

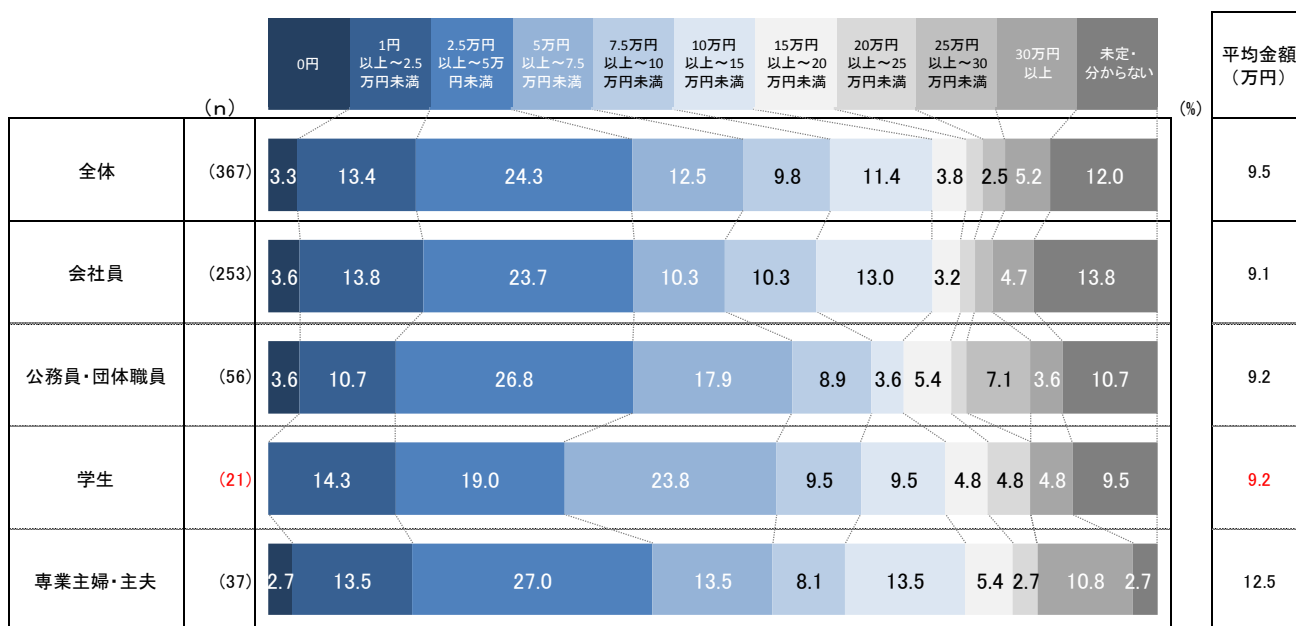
◇「自宅で過ごす」理由（n=147：夏季休暇を自宅で過ごす予定の人）複数選択 単位：％



■夏季休暇で使う平均予算額は「9.5万円」、トップは「専業主婦・主夫」の「12.5万円」

夏季休暇を取得する予定の人に、夏季休暇で使う予算額を聞いたところ、全体では「2.5万円以上～5万円未満」が最も多く24.3%だった。以下、「1円以上～2.5万円未満」（13.4%）、「5万円以上～7.5万円未満」（12.5%）と続いた。平均額は9.5万円となった。

◇夏季休暇で使う予算額 (n=367：夏季休暇を取得する予定の人) 単一選択 単位：%

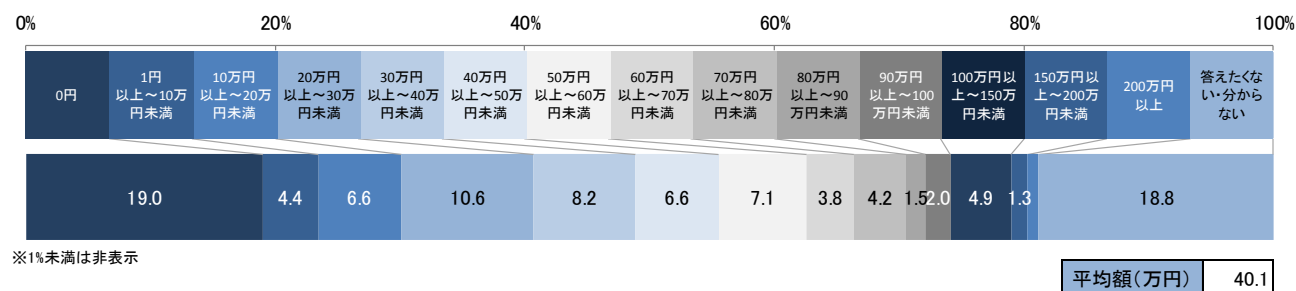


※2%未満は非表示
 ※赤字はサンプル僅少のため参考値
 ※「30万円以上」は「30万円以上～35万円未満」、「35万円以上～40万円未満」、「40万円以上～45万円未満」、「45万円以上～50万円未満」、「50万円以上～75万円未満」、「75万円以上～100万円未満」、「100万円以上」を集計した数値。

■夏のボーナス支給額は平均「40.1万円」

会社員、公務員・団体職員の人に今年の夏のボーナスの支給額を聞いたところ、全体の約2割にあたる人が「0円」と回答していた。以下「20万円以上～30万円未満」(10.6%)、「30万円以上～40万円未満」(8.2%)と続いた。平均額は40.1万円となった。

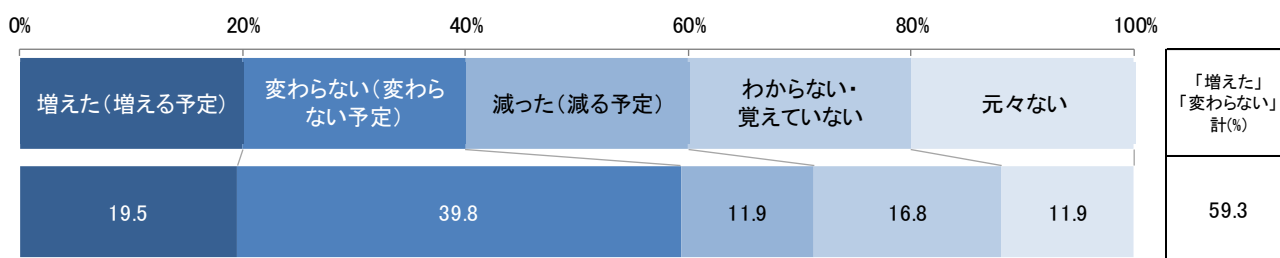
◇夏のボーナス支給額 (n=452：会社員、公務員・団体職員の人) 単一選択 単位：%



■夏のボーナス昨年比「増えた(増える予定)」は約2割

今年の夏のボーナスは昨年比で増えたか、減ったかを聞いたところ、「変わらない(変わらない予定)」と答えた人が39.8%と最も多かった。「増えた(増える予定)」と回答した人は19.5%、一方「減った(減る予定)」と回答した人は11.9%だった。

◇夏のボーナス昨年比 (n=452：会社員、公務員・団体職員の人) 単一選択 単位：%

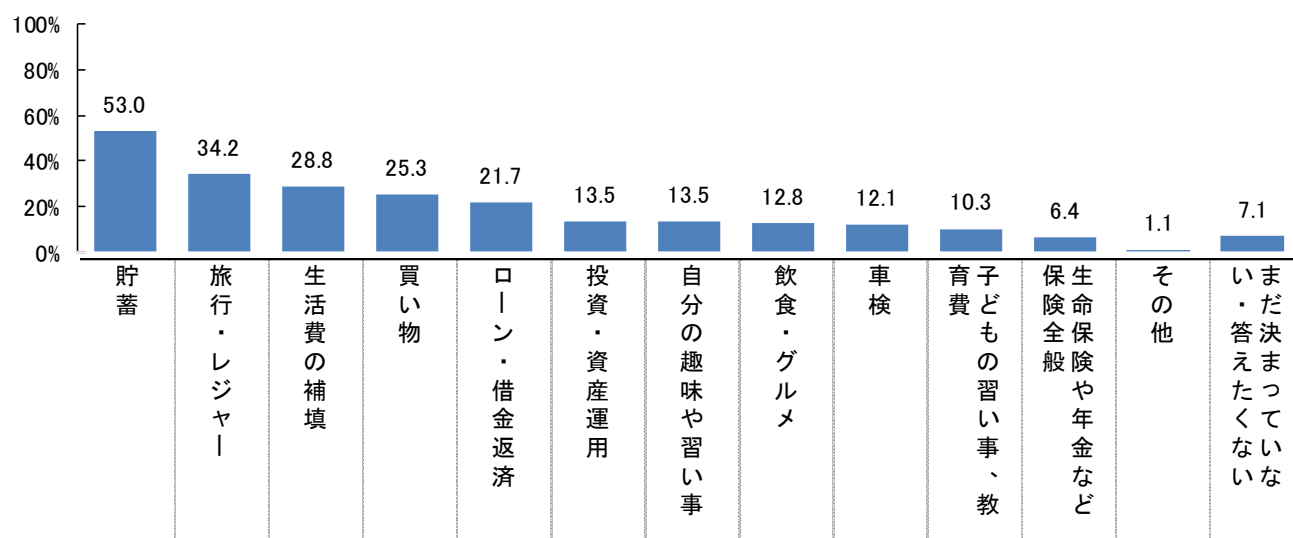


■夏のボーナス使い道は「貯蓄」が5割超え

ボーナスをもらおうと回答した人にボーナスの使い道を聞いたところ、「貯蓄」が最も多く53.0%となり、以下「旅行・レジャー」(34.2%)、「生活費の補填」(28.8%)と続いた。

「まだ決まっていない・答えたくない」を回答する人は1割以下で、使い道が具体的に決まっている人が多数だった。

◇夏のボーナスの使い道 (n=281：ボーナス(1円以上)をもらおうと回答した人) 複数選択 単位：%



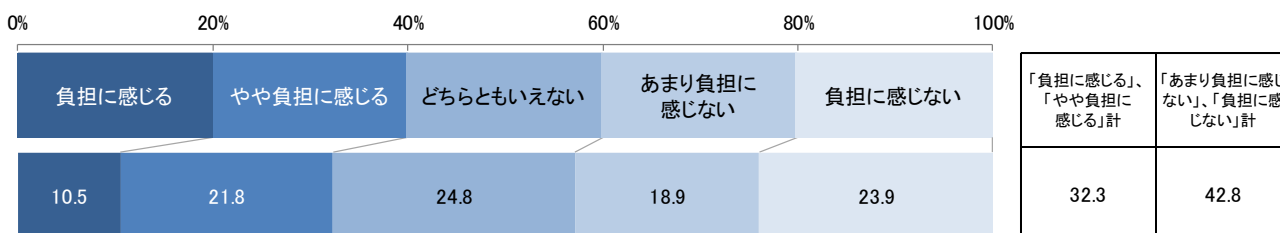
■夏季休暇の間、子どもが家で過ごすことを「負担を感じる」人は3割以上。理由は「昼食の用意が大変」が約7割に上る

夏季休暇中は普段と異なり、家族で過ごす時間が増えることから、中学生以下の子どもがいる人に夏季休暇の間、子どもが家で過ごすことを負担を感じるかを聞いたところ、「どちらともいえない」が最も多く24.8%、以下「負担に感じない」(23.9%)、「やや負担を感じる」(21.8%)と続いた。

「負担を感じる」、「やや負担を感じる」を合計すると32.3%となった。その理由も聞いたところ、「昼食の用意が大変」と回答した人が67.5%と最も高くなった。以下「子どもが家にいる時間が増えて自分の時間が持てない」(62.3%)、「子どもをいろいろなレジャー施設や旅行に連れて行く必要がある」(39.0%)と続いた。

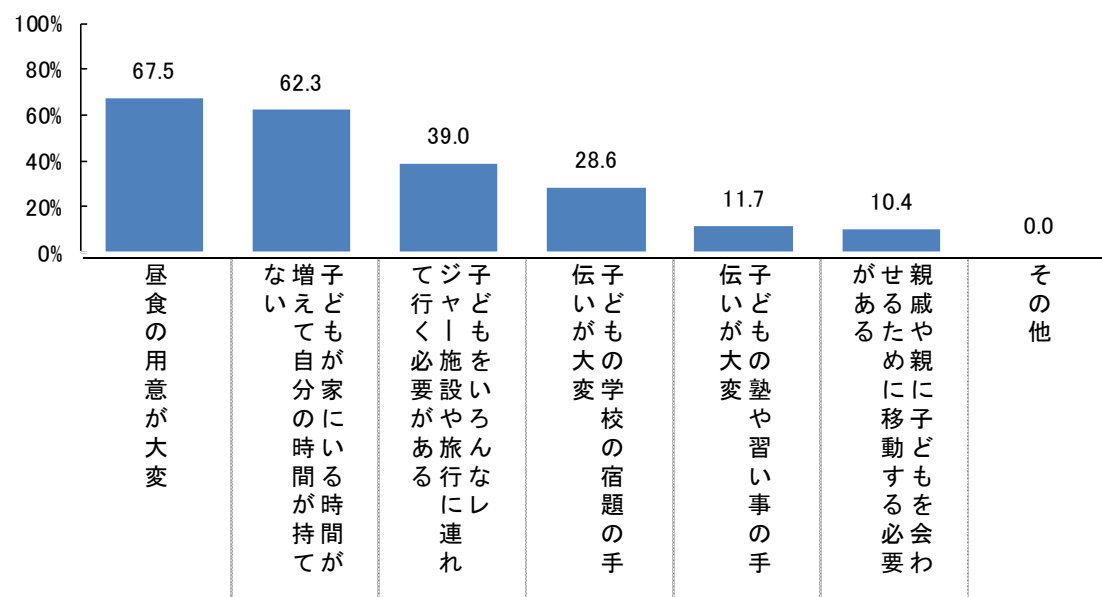
◇夏季休暇の間、子どもが家で過ごすことを負担に感じるか (n=238：中学生以下の子どもがいる人)

単一選択 単位：%



◇子どもが家にいることを負担に感じる理由 (n=77：「負担に感じる」、「やや負担に感じる」と回答した人) 複数選択 単位：%

複数選択 単位：%



【調査概要】

- 調査エリア : 全国
- 調査対象者 : 20歳～69歳 男女
- 回収サンプルサイズ : 1,000 サンプル
- 調査期間 : 2018年6月11日から6月12日
- 調査実施機関 : 楽天リサーチ株式会社

以上